

## 目標指標

メニュー	事業種目	個別指標		現状		目標 (R10)		伸び率	備考			
高性能林業機械等の整備	・林業機械作業システム整備【造林保育型】	どれか一つ必ず選択	地拵えに要するha当たりの人工数(縮減率)		—	人/ha	—	14.8	人/ha	—	森林環境保全直接支援事業	
			下刈りに要するha当たりの人工数(縮減率)		—	人/ha	—	6.8	人/ha	—	同上	
			苗木運搬に要する1,000本当たりの人工数(縮減率)		—	人/千本	—	0.55	人/千本	—	同上	
	・林業機械作業システム整備【素材生産型】 ・効率化施設整備 ・活動拠点施設整備	必須	素材生産量(目標値及び増加率)		148	万m3	R5	161	万m3	108.8	熊本県森林・林業・木材産業基本計画から算出	
			素材生産性(目標値及び増加率)	主伐・間伐	7.4	m3/人日	R5	7.7	m3/人日	104.1	林業労働力の確保の促進に関する基本計画から算出	
		取組に応じて必ず選択	経営計画の作成率(目標値)		41	%	R5	41	%	100.0	林業・木材産業循環成長対策交付金の配分基準の考え方 別紙2-1	
木材加工流通施設等の整備	・木材加工流通施設整備 ・森林バイオマス等活用施設整備	どれか一つ必ず選択	地域材利用(加工)量(増加率・施設の効率性)		68	万m3	R5	83	万m3	122.1	熊本県森林・林業・木材産業基本計画から算出	
			地域材利用(流通)量(増加率・施設の効率性)		115	万m3	R5	136	万m3	118.3	同上	
			地域材利用(乾燥)量(増加率・施設の効率性)		214	千m3	R5	254	千m3	118.7	同上	
			地域材利用(JAS構造用製材)量(増加率・施設の効率性)		—	—	—	—	—	122.1	地域材利用(加工)量の伸び率を準用	
	取組に応じて必ず選択	製材の生産性		325	m3/人年	R5	325	m3/人年	100.0	木材統計から算出		
		乾燥材率		51.6	%	R5	60.4	%	117.1	熊本県森林・林業・木材産業基本計画及び木材統計から算出		
		選定経営体との木材安定協定等の締結数		—	件	—	1	件	—	林業・木材産業循環成長対策交付金の配分基準の考え方 別紙2-1		
木質バイオマス利用促進施設の整備	・未利用間伐材等活用機材整備 ・木質バイオマス供給施設整備 ・木質バイオマスエネルギー利用施設整備	必須	木質バイオマス利用量(増加量)		607	千t	R5	736	千t	121.3	熊本県森林・林業・木材産業基本計画から算出	
			施設の効率性	未利用間伐材等活用機材		—	m3/千円	—	0.05	m3/千円以上	—	林業・木材産業循環成長対策交付金の配分基準の考え方 別紙2-1
				木質バイオマス供給施設		—	m3/千円	—	0.02	m3/千円以上	—	林業・木材産業循環成長対策交付金の配分基準の考え方 別紙2-1
				木質バイオマスエネルギー利用施設		—	m3/千円	—	0.002	m3/千円以上	—	林業・木材産業循環成長対策交付金の配分基準の考え方 別紙2-1
	選定経営体が生産する木材が使われやすくなる仕組みの構築		—	—	—	—	—	—	林業・木材産業循環成長対策交付金の配分基準の考え方 別紙2			
木造公共建築物等の整備	・木造公共施設整備	必須	施設利用者数(施設の効率性)		—	人	—	—	人	—	施設ごとに作成する費用対効果で1.0以上を満たすこと	
			単位面積当たりの地域材利用量(目標値)		—	m3/m2	—	0.18	m3/m2	—	林業・木材産業循環成長対策交付金実施要領 別表2	
			単位面積当たりの事業費(目標値)		—	万円/m2	—	35	万円/m2未満	—	林業・木材産業循環成長対策交付金の配分基準の考え方 別紙2-1	
			選定経営体が生産する木材が使われやすくなる仕組みの構築		—	—	—	—	—	—	林業・木材産業循環成長対策交付金の配分基準の考え方 別紙2 (川上との連携)	
	取組に応じて必ず選択	CLT利用量(目標値)		—	m3	—	0	m3以上	—	林業・木材産業循環成長対策交付金の配分基準の考え方 別紙2-1 (新技術の普及)		
特用林産振興施設等の整備	・特用林産物活用施設等整備	どれか一つ必ず選択	乾いたけの生産量(増加率)		186	t	R5	186	t	100.0	熊本県森林・林業・木材産業基本計画から算出	
			生しいたけの生産量(増加率)		451	t	R5	451	t	100.0	特用林産物統計調査、熊本県森林・林業・木材産業基本計画に準拠	
			たけのこの生産量(増加率)		1,578	t	R5	1,578	t	100.0	同上	
			きくらげ類(生)の生産量(増加率)		112	t	R5	112	t	100.0	同上	
	必須	選定経営体との連携状況		—	件	—	1	件	—	林業・木材産業循環成長対策交付金の配分基準の考え方 別紙2-1		
		地域材利用量(目標値)		—	m3	—	100	m3以上	—	林業・木材産業循環成長対策交付金実施要領 別表2		
	取組に応じて必ず選択	省エネルギー施設等の整備		—	—	—	—	—	—	林業・木材産業循環成長対策交付金の配分基準の考え方 別紙2		
		燃油使用量(縮減率)		—	%	—	—	—	15	%以上	—	林業・木材産業循環成長対策交付金の配分基準の考え方 別紙2-1 (縮減率)
エネルギー効率(向上率)		—	%	—	—	—	15	%以上	—	林業・木材産業循環成長対策交付金の配分基準の考え方 別紙2-1		